

平成 21 年度第 3 回議事録

日 時 平成 21 年 9 月 7 日 (月) 14:00～17:00

会 場 地盤工学会 3 階会議室

委員長	笹倉 剛	○	委員	スレン ソッキアン	○	委員	國分 章子	×
委員	松岡 達也	○	委員	別木 孝	○	委員	隅倉 光博	○
委員	細野 康代	○	オブザーバー	末政 直晃	×	オブザーバー	片桐 雅明	×
オブザーバー	竹内 秀克	×						
事務局	浅野	○	事務局	永田	○			

○：出席， ×：欠席， △未定

◎本日の議事録作成担当者 (スレン委員)

議事録 (細野⇒スレン)

1. 報告事項

1-1. 前回委員会 (7/開催) 議事録確認 (作成者：細野委員) 別紙 1

→細野委員より前回議事録の確認があった。

1-2. 前回会員・支部部会 (7/8 開催) 報告 別紙 2

→永田事務局員より、前回会員・支部部会の報告があった。

1-3. 前回広報委員会報告 (8/5 開催) 別紙 3

→永田事務局より、前回広報委員会報告があった。

→今後もスレン委員は広報委員会に出席する。

1-4. 外部団体会議報告

☆日本工学会 PDE 協議会 10/5 開催

日本工学会 CPD 講演会 別紙 4

→永田事務局員より、日本工学会 CPD 講演会の開催について、報告があった。

→地盤工学会 CPD 委員会は参加およびパネルも出展する。

→後日、永田事務局員よりメールで参加人数を確認する。

☆建設系 CPD 協議会

→末政オブザーバーが欠席のため、報告なかった。

2. 審議事項

2-1. 22 年度予算について 別紙 5

→永田事務局員より、H21 度予算の報告があった。

→H22年度の予算については10月半ばごろに概算を出す方向。

→予算案はまず、事務局で案を作成して、メールで審議することとした。

2-2. プログラム認定審査の基準について（パネルディスカッションのポイント） 別紙6

→岐阜大学で開催されたパネルディスカッションのCPDポイントについて、審議があり、今後もパネルディスカッションについて以下のポイント制度で付ける。

- ・コーディネーターは基本的に講師ポイント制度と同様でパネルディスカッションの全時間でポイントを付ける。
- ・パネリストのポイントも講師ポイント制度と同様とするが、一人一人のポイントは全時間をパネリスト人数で割った時間とする。ただし、前セッションとの継続があった場合、前セッションの講演時間に加算する。

2-3. プログラム認定審査 別紙7

→5件のCPD審査プログラムがあり、3件は特に問題がないので認定された。

→財団法人 全国建設研修センターの申請は、開催日毎のプログラムと申請書の再提出を依頼し、メールで再度審査する。

→株式会社クレアテックの申請については、商品の宣伝と思われる部分があったので、講演資料を要求してから、再度審査することとした。資料が提出できない場合は、この部分のポイントをカットする。

3. その他

→サーバ管理について、メテオ社は不安定のため、他社に変更する方針で今年度より検討をスタートする。

→永田事務局員より他社を打診する。（地盤工学会 HP 管理者のキャルスステーション社、土木学会または技術士連合会のサーバを管理している会社など）。

次回委員会開催日：平成 21 年 11 月 5 日（木） 13：00～15：00 地盤工学会 3 階 小会議室